

1人審判法の要点(参考)

* 8人制サッカーの大会趣旨について

ーフェアプレーの精神の基にー

- ・8人制にすることにより、一人一人の選手が触球数を増やし、固定しない多くの、色々なポジションを経験し「判断」「技術」の質を高めることが目的。
- ・ドリパク・フェアプレーカップは、選手、指導者、保護者および大会役員、審判員など、大人のフェアプレー精神をも養う目的が、前面にある。

* 4年生大会

- ・主旨と1人審判法が、実績により受け入れられている。
- ・主旨を生かすには、1人審判法が良いと考える。

* 5年生大会

- ・8人制のメリットを生かすためには、正確な、平等な判定が有効だと考える。
- ・1人審判により、また、審判員のレベルにより……判定しにくい、不平等な判定、疑わしきは罰せず……になり易い
これが勝敗に影響し、不満を招く

このことが生じやすいことを、全員に受け入れてもらう必要がある。

しかし、審判員としては、レベルによる格差。、選手、指導者、保護者の不満を少なくする努力が必要である。

- ・説得力ある判定……よく動き、より良い位置(角度)をとる… ゴールイン、ファール
オフサイドの判定

……予備審の活用
……ラインアウトの補助
合図の確認
- ・平等な判定………審判員の技量差による不平等を少なくする

……審判法の統一

……研修会

ADVICE REPORT



- R ① 予備審との連携 ラインアウト、スローイン方向、・・副審合図テクニック確認
- R ② キックオフ時 進入の監視と次の争点、ゴールイン有無の判定位置に移動。
- R ③ 基本位置取り タッチライン横移動で、ゴールイン、オフサイドの判定にガンバル。
16人の選手を眼中でできる位置取りのイメージ。
- R ④ ファールの判定 次の展開を予想して近づき、ファールの有無を確認しながら、次の
オフサイド、ゴールイン及び逆襲に備え、移動する。
- R ⑤ フリーキック時 9.15mをコントロールした後、オフサイド、ゴールインに備え移動。
- R ⑥ スローイン時 攻撃方向へ前もって移動し、監視と次の争点に備える。
- R ⑦ コーナーキック時 両コーナーとも選手の争い、ゴールイン判定に備えた位置取り。
- R ⑧ PK時 ゴールライン上で、キッカー、GK、侵入者の確認できる位置で
特に、ゴールインの有無を判定。

* 8人制サッカーにおいて、一人審判制を採用した場合の参考として活用ください。

あくまで、参考で、これでなければダメだと、言う事では有りませんので誤解なき様に

お願いします。なお、経験した結果、より良い事項がありましたら忌憚なくお知らせください。